



素直なところ

先週、2年生の校外学習で、上野・浅草方面へ行きました。その前は1年生と一緒に戸狩温泉スキー場への移動教室でした。これで今年度、本校の「旅行的行事」は終わりました。大きな事故や現地で病気になる人もなく、無事に終わることができたのは本当によかったと思います。

振り返ってみると、まず1年生の移動教室ですが、素晴らしい三日間でした。まず、準備が素晴らしかった。また体調不良で休む人、現地で具合が悪くなる人は一人もいませんでした。そして、三日間を通して、与えられた課題にまっすぐ向き



合い、一人ひとりが一生懸命頑張った三日間でした。その中で1年生の皆さんから感じたことそれは「素直さ」でした。次に2年生の校外学習、初めての班行動を知らない街の中で行ったので



すが、これもトラブルなく、笑顔で終わった一日でした。その中で2年生の皆さんから感じたこと、それは「思いやり・やさしさ」です。そして3年生の修学旅行、ちょっと前になりますが、鮮明に覚えています。この前までやっていた面接練習でも、修学旅行のことを話した人は多くいました。その三日間の中で3年生から感じたこと、それは「真面目さ・ひたむきさ」です。

私がこの学校に赴任し、これらの旅行的行事から感じたこと。それは「四中生の素直さ」です。これがすべてつながっていると思います。素直な気持ちで課題に向き合い、助け合い、頑張りぬく。そしてそこから培われた優しさや思いやりはやがて友情へと成長し、すべてのことにまじめに、ひたむきに取り組むことができる資質を育てている。そう感じました。体育祭や合唱祭への取組を思い返してみても、皆さんの持つ「素直さ」が、四中の基盤であり、そこから発展して行事等の結果になっていると思います。

どの学年も本当によく頑張って、成果を残し、成長できていると思います。さあ、3年生は都立推薦入試が今日で終わり、いよいよ入試本番を迎えますね。今まで培ってきた集団としての力を発揮するのはこれからです。一人ひとりが思いやりと優しい心を持ち、お互いを支え合い、そして乗り切ってください。皆さんならきっとできると思います。

そして四中全体で応援しています。がんばってください。(1月27日全校朝礼 校長講話より)

生徒・保護者アンケートの集計結果

11月に生徒全員を対象に実施し、ほぼ同じ項目で保護者の皆様にご協力をいただきました。アンケート（保護者回収率78%）の肯定的回答の集計結果と分析、今後の方針等についてお知らせします。

方針		質 問 事 項	生 徒	保 護 者
わかる・できる・書ける・あふれる	1	各教科の授業はわかりやすく、学校の努力や改善の姿勢を感じる	91%	66%
	2	話し合いやグループ活動等の他者と交流する学習活動に意欲的に取り組んでいる	86%	78%
	3	各教科の授業において、タブレット端末等のICT機器を活用することは役立っている	83%	71%
	4	毎日一時間以上、学校以外での場所で学習に取り組んでいる	67%	47%
思いやりがあふれる学校	5	時間を守ることや身だしなみを整えること等の決まりを守ることができている	90%	74%
	6	家庭や学校、地域において時と場合に応じたあいさつができている	89%	82%
	7	先生たちは日頃から声掛けや面談を通じて、生徒理解に努めている	88%	84%
	8	いじめや不登校の心配がなく、安心して学校生活を送ることができている	88%	88%
感動にあふれる学校	9	体育祭や合唱祭等の学校行事に、意欲的に取り組んでいる	97%	93%
	10	学校生活の中で、「上級生の姿を見て下級生が学び、頑張る」という気持ちが育っている	86%	78%
	11	避難訓練や防災体験を通じて、災害時に安全に行動しようという意識が高まっている	92%	74%
	12	道徳の時間を通じて、道徳や人権について考えるようになっている	88%	74%
信頼される学校	13	進路学習は将来の夢や目標について考えることに役立っている	88%	74%
	14	学校だよりや学年だより、学校のホームページを見たり読んだりしている	55%	71%
	15	体育祭や合唱祭の学校行事を参観した		94%
	16	地域人材を活用した学校行事や職場体験、四中スペシャル等は生徒の成長に役立っている	88%	85%
	17	四中に入学してよかったと思う 四中に入学させて良かったと思う	96%	92%

分析および今後に向けて

学校評価アンケートから見えてくるもの

目指す生徒像 自分を信じ、仲間を信じ、互いを認め合いながら成長する生徒

目指す学校像 「わかる・できる」「おもしろい」「感動」「信頼」この4つのキーワード

◇学校の授業はわかりやすい



生徒・保護者からの一番の学校への期待は「学力の向上」です。保護者の皆様からの厳しい数値は真摯に受け止め、「授業が勝負」を第一に掲げてきたこともあり、もう一度授業の構成や教材への取組を見直し、評価の在り方についても見直してまいります。一つ数値をお知らせしますと、先日行われた3年生の都立高校入試におけるESAT-J year3の結果です。受験者のGrade-C以上がなんと90.1%となりました。これは都平均の85.2%を大きく上回り、学校の平均スコアは70.6。グレードはB。素晴らしい結果でした。これも日々の授業の中で積み重ねていった結果です。ICT機器の普段の授業の中での活用も、着実に効果を上げ、生徒たちの家庭学習の変化に対応すべく、工夫を重ねています。そして充実した授業から培われる生徒との信頼関係を基盤とした生活指導が、四中を支えています。

◇安心できる学校生活

6月・11月・2月のふれあい月間だけでなく、様々な場面で人権やいじめについての授業を行ったり、教員間で話し合いや情報交換を重ねてまいりました。4月・11月の生徒理解週間においても時間を確保し、子どもたちとの対話を大切にしてきた一年でもありました。引き続き生徒の安心・安全な学校生活を第一に考え、生徒理解に努めてまいります。また、今年新設した「若葉ルーム」ですが、来年度も今年度と同じコンセプトで開室してまいります。学校・クラスに入りにくい子どもたちの少しでも安心できる空間・場所を目指し、取り組んでいく所存です。

◇変わらぬ行事への情熱 それは、「感動にあふれる学校」の基礎となる

働き方改革を出発点とした行事の精選と、コロナ禍に対する対応の中、ねらいの見直しから始まった各行事の縮小、そして改善。体育祭・合唱祭の二大行事だけでなく、学年・生徒会行事についても大きく見直しと縮小・改善を行いました。限られた条件の中でしたが、3年生を中心としたその取り組みは素晴らしく、見事に四中の伝統を引き継ぎ、感動的なものになったと思います。また、3年生の活動からスタートした「あいさつ強化DAY」をきっかけに下級生に広がって現在に至ることや、行事での縦割り活動、部活動の様子といったこと、つまり学年を超えた縦のつながりをこれまで以上に情報発信し、保護者の皆様の目や耳に届く工夫をする必要を感じています。



◇日々の生活の中における生徒たちの学校生活満足度の高さ

この学校評価の中一番大切にしたい質問項目、それは【狛江四中に通ってよかったと思う】という項目です。今年度は生徒・保護者ともに肯定的回答が、90%を超えました。本来ならば100%が理想なのかもしれません。けれども、この90%を超える生徒と保護者の皆様が、学校を応援してくれ、引っ張ってってくれるものと信じています。また、毎年春と秋の2回行っているQUアンケートの結果ですが、学校生活満足群に属する生徒は73.1%と、素晴らしい結果を残すことができ、狛江四中に通ってよかったという思いの裏付けとなりました。

来年度も、一人ひとりが認められ、活躍する場があり、楽しく安心で、学力が身につく四中を目指し、取り組んでまいります。今後ともよろしく願いいたします。

☆お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

校内で書き初めを展示しました

各学年の廊下に、書き初めを展示しました。今年の課題は、1年「発展途上」「庭の月影」2年「郷土の誉」「朝日が昇る」3年「志を遂げる」「穏やかな海」でした。

校内金賞受賞作品は、東京都書き初め紙上展に出品予定です

1/14(火) 3年生激励会を行いました



1月14日朝、3年生激励会が生徒会主催で行われました。これも大幅に規模を縮小しての実施となりました。今年の干支「巳年」にちなんで、模造紙に描かれたへびのからだに、1・2年生一人ひとりからと、3年生の先生方からの激励メッセージが貼られた「激励へび」が、3年生の学級委員に手渡されました。

生徒の間の絆を深める取り組みであるとともに、心温まるひと時でした。

